

会計別内訳

会計名	予算額	伸率(%)
一般会計	487億 1,018万円	3.9
国民健康保険事業	83億 1,779万円	△ 5.5
(事業勘定)	(82億 5,094万円)	△ 5.5
(診療所費)	(6,685万円)	△ 6.7
特別会計		
駐車場事業	3,762万円	△ 0.4
介護保険事業	109億 9,796万円	3.6
サービスエリア	931万円	4.8
後期高齢者医療	17億 8,764万円	11.2
小計	211億 5,032万円	0.4

会計名	予算額	伸率(%)
企業会計		
病院事業	61億 954万円	△ 0.5
水道事業	51億 8,361万円	△ 7.7
下水道事業	43億 835万円	△ 6.6
小計	156億 150万円	△ 4.7
財産区特別会計		
島ヶ原財産区	2,872万円	△ 5.9
大山田財産区	1,305万円	0.6
小計	4,176万円	△ 4.0
合計	855億 377万円	1.3

※端数処理の関係で各科目と計が一致しないことがあります。

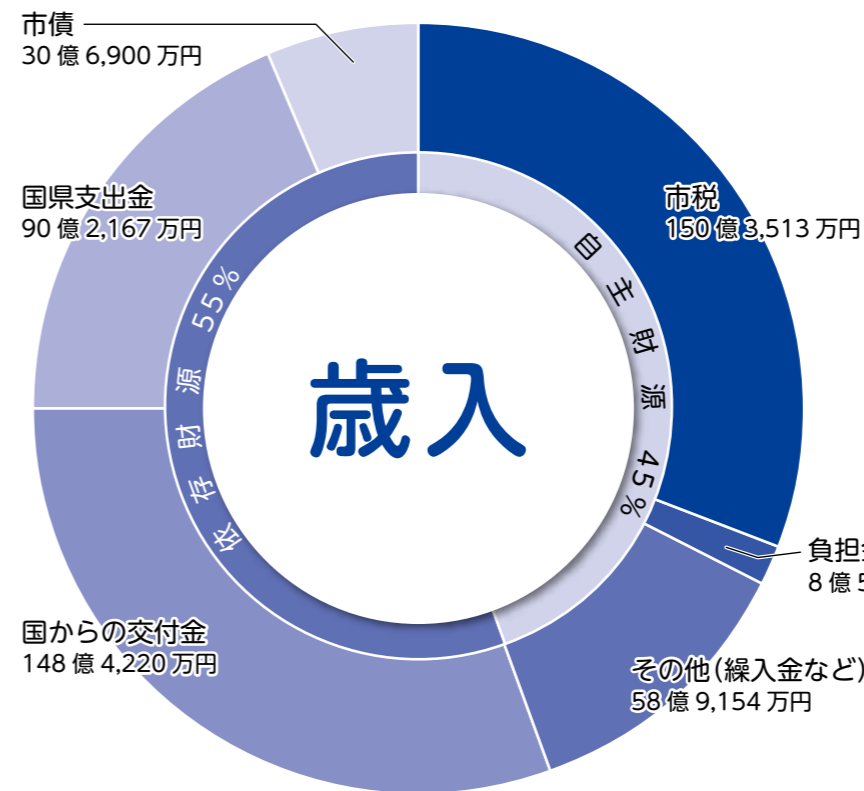
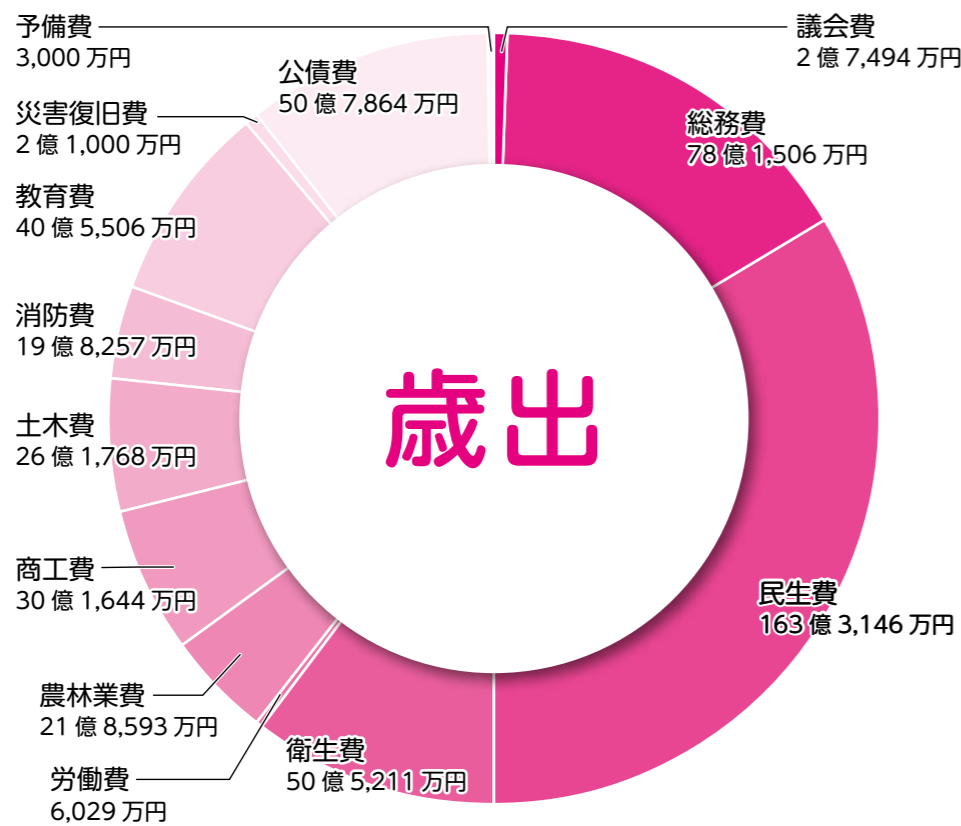
令和8年度当初予算をお知らせします

人をはぐくむ、くらしを守る

伊賀のひだまり予算

今年度は、新たにスタートした「第3次伊賀市総合計画」に基づくまちづくりを本格的に推進し、その理念や取り組みを市民生活へ着実に届けていく重要な年度です。
「いのちをまもる」「くらしをささえる」「ひとをはぐくむ」「にぎわいをつくる」「計画の推進」の5つのビジョンを通して、市全体が一体感を持って発展し、すべての市民が輝く社会の実現に取り組んでいきます。

【問い合わせ】 財政課 ☎22-9608 FAX24-2440



令和8年度の一般会計

487億 1,018万円

※自主財源…地方公共団体が自主的に収入できる財源
※依存財源…国や県から交付される財源など

【民生費】 老人福祉や保育所の運営管理、医療費助成、生活保護費など、福祉全般に関する経費

【衛生費】 ごみ収集や予防接種に関する経費など、環境対策や清掃事業、健康推進に関する経費

【労働・農林業・商工費】 農業・商工業団体への助成や観光に関する経費など、労働・産業に関する経費

【土木費・災害復旧費】 道路、公園、市営住宅などの維持管理や建設に関する経費や、災害により破損した道路などの復旧に関する経費

【消防費】 消防、救急活動、防火水槽などの防災基盤整備、消防団本部の運営に関する経費

【教育費】 市立の小中学校、幼稚園の管理運営に関する経費や、文化財の保全、スポーツ振興、青少年育成などの経費

【公債費】 市が主に建設事業のために借り入れた市債の償還に関する経費

【予備費】 地方自治法で設けることが定められており、他の科目で予算執行できない場合に支出する経費

用語の解説

◆歳入の部

【市税】 個人市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税など、市民の皆さんに納めていただく税

【負担金・使用料】 市が行う事業に対する地元負担金や施設の使用料など

【繰入金】 基金の取り崩し金や他会計からの繰入金

【国からの交付金】 市の実情にあわせて国から交付される地方譲与税、地方交付税など

【国県支出金】 国や県からの負担金や補助金、委託金

【市債】 市が主に建設事業に充てる借金

◆歳出の部

【議会費】 議員報酬や政務活動費など、市議会の運営に関する経費

【総務費】 庁舎管理など行政内部に関する経費や、地域振興、住民自治、人権啓発、防災関係などの経費

にぎわいをつくる

持続可能な農業の促進や産業の振興、地域活性化の取り組みにより、地域の活力を生み出すとともに、伊賀市の魅力発信に取り組みます。

【主な新規事業】

- 地域総合整備財団と連携し、地域振興に資する事業を実施する民間事業者に対し、設備整備資金の無利子貸付を行う …………… 21 億円

【主な拡充事業】

- 地域おこし協力隊員に対し、活動業務を委託する …………… 4,164 万円

計画の推進

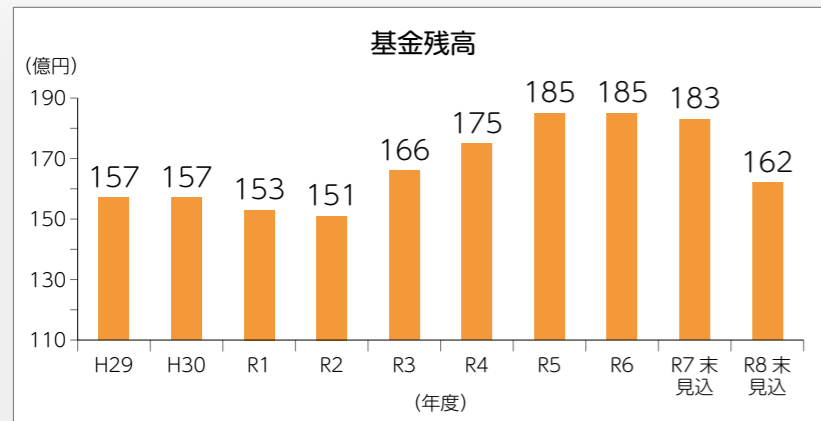
計画に位置付けた施策の推進を支えます。

【主な新規事業】

- 市民の利便性向上や職員の事務省力化をめざして、書かない窓口システムを導入する …………… 8,026 万円

基金と市債の状況

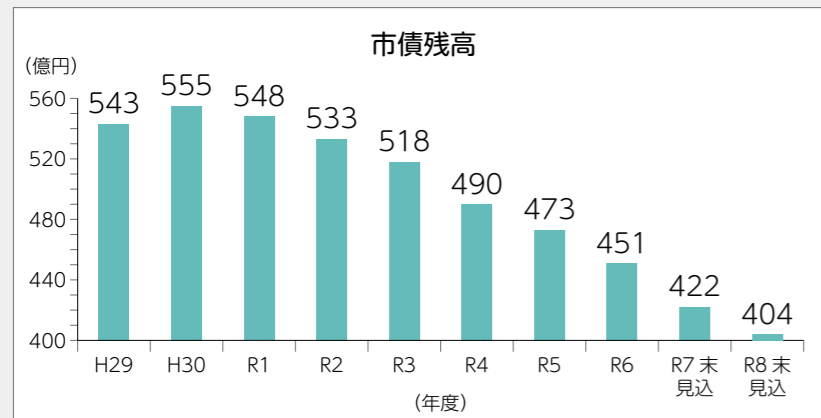
【基金】（市の貯金）市民一人あたり約19万5千円



市の貯金である基金は、各事業を行うにあたり、約36億4千万円を取り崩す予定です。

また、財政調整基金や伊賀市ふるさと応援基金などへ約14億6千万円を積み立てるため、令和8年度末の基金残高は約162億円になる見込みです。

【市債】（市の借金）市民一人あたり約48万6千円



市の借金である市債の令和8年度末の残高予定額は、令和7年度に比べ約17億8千万円減の約404億円を見込んでいます。

いのちをまもる

生命と財産を守るため、災害への備えなどを進め、医療体制を整備します。

【主な新規事業】

- 災害時に通信状態が不安定なエリアの通信確保のためモバイルルーターを購入する …………… 44 万円
- 防災行政無線設備の更新を行う …………… 3,210 万円
- 災害時の救護などの拠点となるエアートント一式を購入する …………… 997 万円

くらしをささえる

市民がともに支え合い健康で安心して暮らすために、スポーツに親しむ機会の提供や、高齢者、障がい者の福祉を充実させるとともに、環境にやさしい取り組みを推進し、自然環境の保全に努めます。あわせて犯罪などの防止に取り組み、安全な地域社会を築きながら、暮らしの基盤となるインフラを整備します。

【主な新規事業】

- 福祉人材の確保や定着を目的に、市内の障がい福祉サービス事業所などに新たに就労する者に対して支援金を交付する …………… 150 万円
- 身寄りのない生活困窮者を対象に、入所・入院時に必要なサービスの利用ができないなど、生命に関わる課題の解消のため、意思判断能力のある段階から緊急連絡先を確保する …………… 240 万円
- RS ウイルス感染症による新生児や乳児の重症化を防ぐため、妊婦を対象にしたRS ウイルスワクチンの定期接種を行う …………… 1,152 万円
- 未整備区間の都市計画道路について、計画の見直しを行い、都市計画の変更を検討する …………… 1,323 万円

ひとをはぐくむ

誰もが尊重され、個性や能力を生かして活躍できる多様性あふれる社会をめざします。強固なコミュニティの形成や、文化や芸術を担うこどもたちが健やかに成長し、大人もともに学ぶことができる環境づくりに取り組みます。

【主な新規事業】

- 伊賀市出身の書家・榊莫山の生誕 100 年を記念し、作品とその生涯を紹介するとともに、地域の誇りを高めるため、記念展覧会を企画・実施する …………… 1,068 万円
- 柘植中学校、霊峰中学校を統合し令和9年4月1日開校に向けた管理備品の購入や校章、校歌の作成などを行う …………… 872 万円
- 小学校の給食残渣を再資源化し、ごみの削減と環境教育に活用するための処理業務を委託する …………… 353 万円
- 令和8年度中に主食（米飯）を提供する私立保育所などに対して、保護者負担相当分を補助する …………… 884 万円
- 認可外保育施設に通う3～5歳のこどもの主食費に対して補助する …………… 12 万円
- 公立保育所 13 カ所で3歳以上のこどもに対して主食（米飯）を提供する …………… 1,062 万円
- 公立幼稚園の3歳以上のこどもに対して主食（米飯）を提供するにあたり、桃青の丘幼稚園に在園する園児に対し、保護者負担相当分を補助する …………… 144 万円

令和8年度 主な事業

令和8年度当初予算に計上した主な事業について、「いのちをまもる」「くらしをささえる」「ひとをはぐくむ」「にぎわいをつくる」「計画の推進」の5つのビジョンに分けて紹介します。